

投資信託の共通KPIに関する分析

＜2025年3月末基準＞

2025年9月10日

金 融 庁



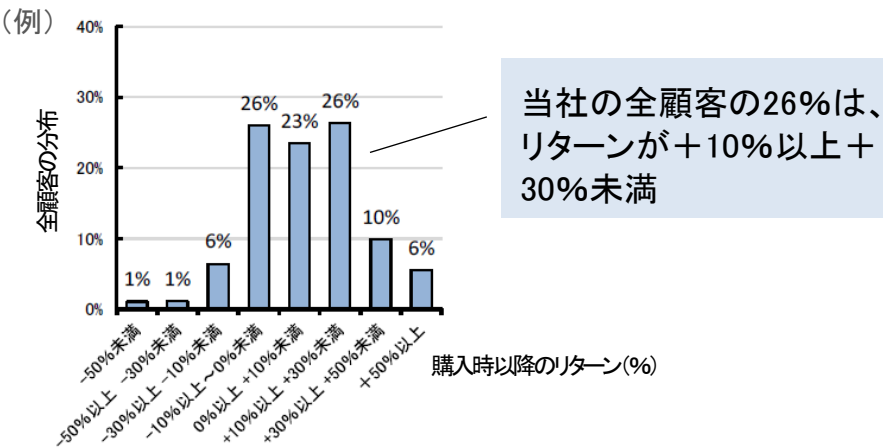
投資信託の共通KPIの概要

- 金融事業者の選択に当たっては、他の金融事業者と取組状況を比較することが有益である。金融庁としては、各金融事業者が設定・公表する自主的なKPIに加えて、リスクや販売手数料等のコストに見合ったリターンを長期的に確保できているかを国民が比較検討できるよう、各金融事業者が、リターンに関連する共通の定義による統一的な指標（以下、「共通KPI」）を公表することを期待している。

① 投資信託の運用損益別顧客比率

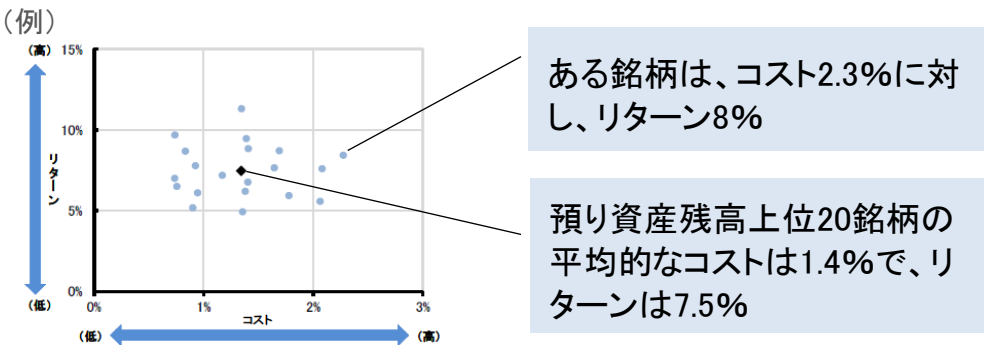
基準日に投資信託を保有している各顧客について、購入時以降のリターンを算出し、全顧客を100%とした場合のリターン別の顧客分布を示したもの。

購入時以降のリターン(%) =
$$\frac{\text{基準日の評価金額} + \text{累計分配金額} + \text{累計売付金額} - \text{累計買付金額(手数料込)}}{\text{基準日の評価金額}}$$



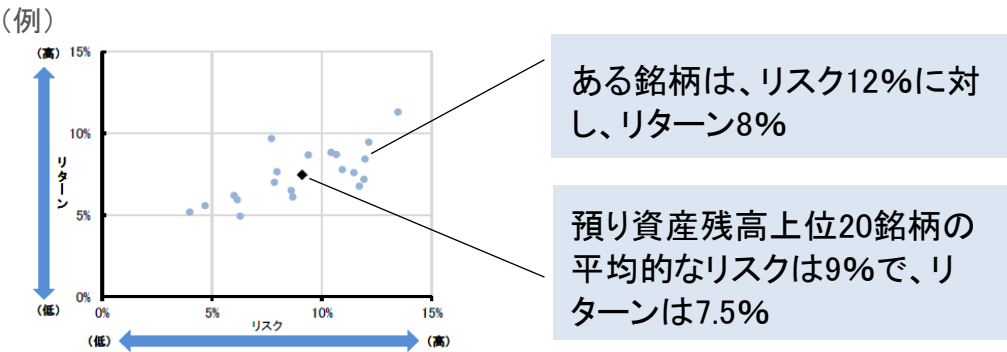
② 投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

預り資産残高上位20銘柄について、コスト（販売手数料率の1/5と信託報酬率の合計値）とトータルリターン（過去5年間の基準価額の月次騰落率を年率換算）をプロットしたもの。



③ 投資信託の預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

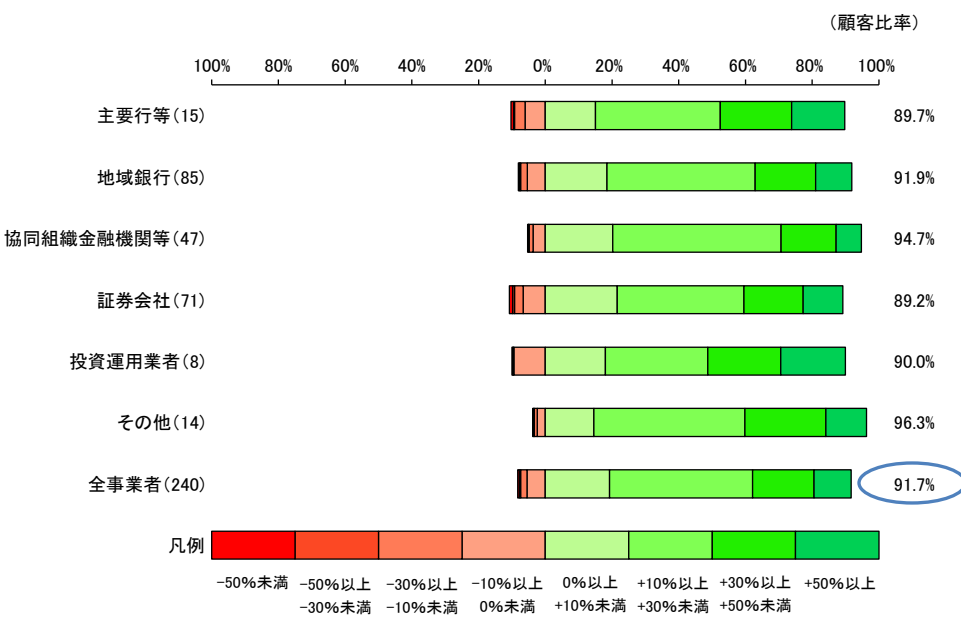
預り資産残高上位20銘柄について、リスク（過去5年間の基準価額の月次騰落率のバラツキ）とトータルリターン（同左）をプロットしたもの。



共通KPI① 投資信託の運用損益別顧客比率

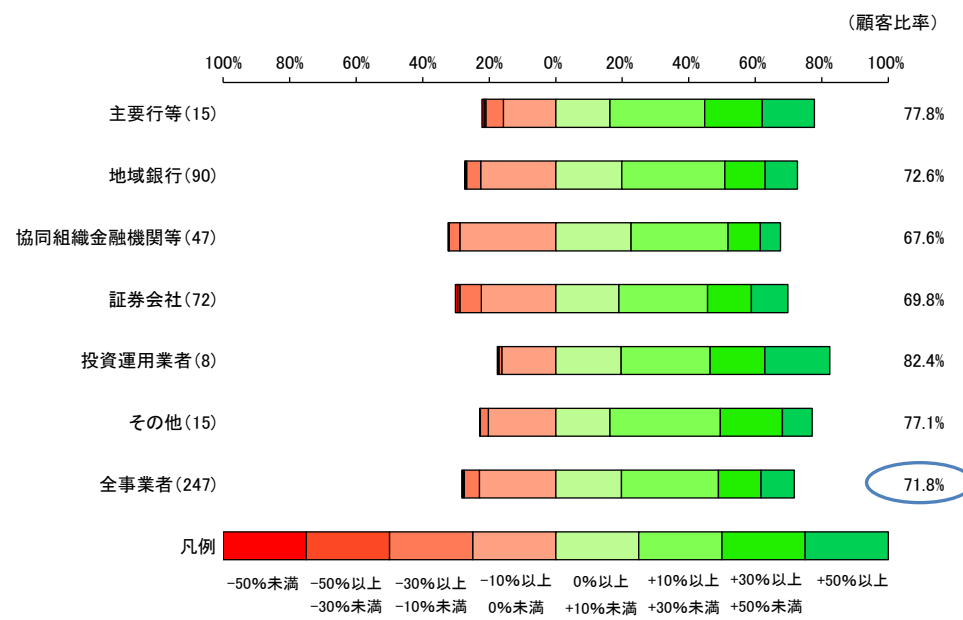
- 2025年3月末は、運用損益がプラスである顧客の割合は約7割と、2024年3月末の約9割に比し低下した(図表1、図表2)。
- 業態別では、運用損益がプラスである顧客の割合は、2024年3月末時点に比しいずれの業態も低下し、また、業態間の散らばりはやや拡大した(図表1、図表2)。

図表1: 投資信託の運用損益別顧客比率(2024年3月末基準)



(注1) 基準日2024年3月末
(注2) 2025年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し当庁に報告した金融事業者(247者)のうち、2024年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し当庁に報告を行った金融事業者(240者)を集計(単純平均)
(注3) 各業態の右端のパーセンテージは、運用損益率0%以上の顧客割合(小数点以下四捨五入)
(注4) 各業態の右側の()内数値は、公表先数
(注5) その他は、保険会社等4者、IFA10者、日本郵便
(資料) 金融庁

図表2: 投資信託の運用損益別顧客比率(2025年3月末基準)

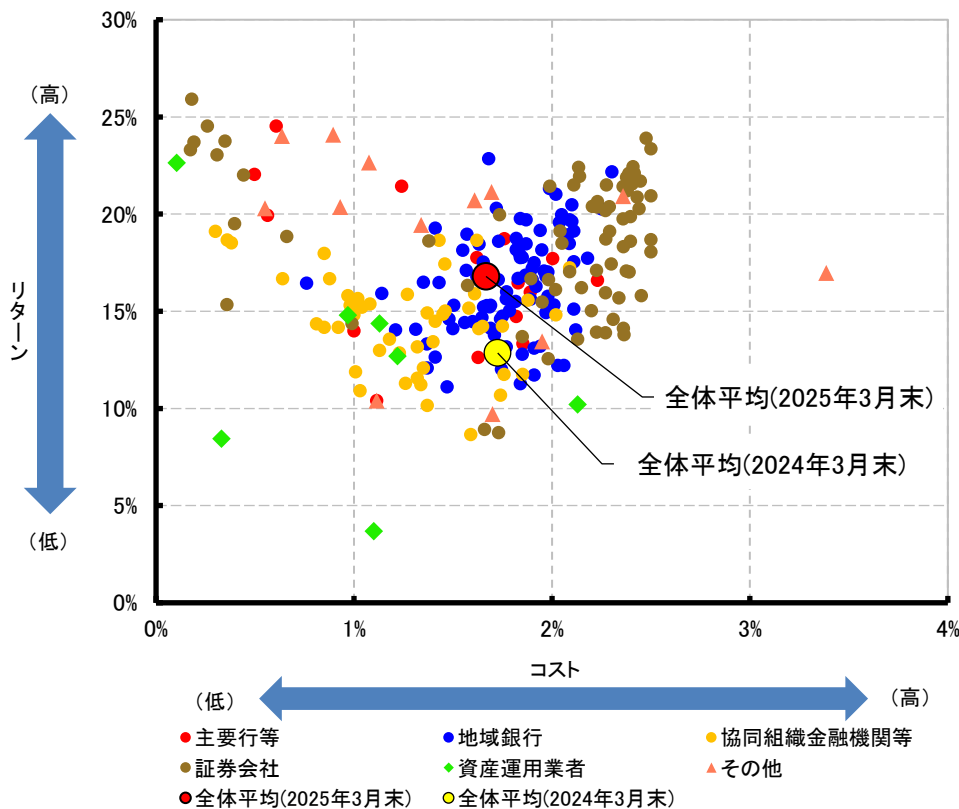


(注1) 基準日2025年3月末
(注2) 2025年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し当庁に報告を行った金融事業者(247者)を集計(単純平均)
(注3) 各業態の右端のパーセンテージは、運用損益率0%以上の顧客割合(小数点以下四捨五入)
(注4) 各業態の右側の()内数値は、公表先数
(注5) その他は、保険会社等4者、IFA10者、日本郵便
(資料) 金融庁

共通KPI②・③ 投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン

- 2025年3月末は、2024年3月末に比べ、コスト・リターン(コストに対するリターンの比率)、リスク・リターン(リスクに対するリターンの比率)、ともに上昇した。リターンが上昇した一方、リスクは低下した。また、コストは小幅ながら低下した。(図表3、図表4)

図表3:コストとリターン(全公表事業者)



(注1)基準日2025年3月末

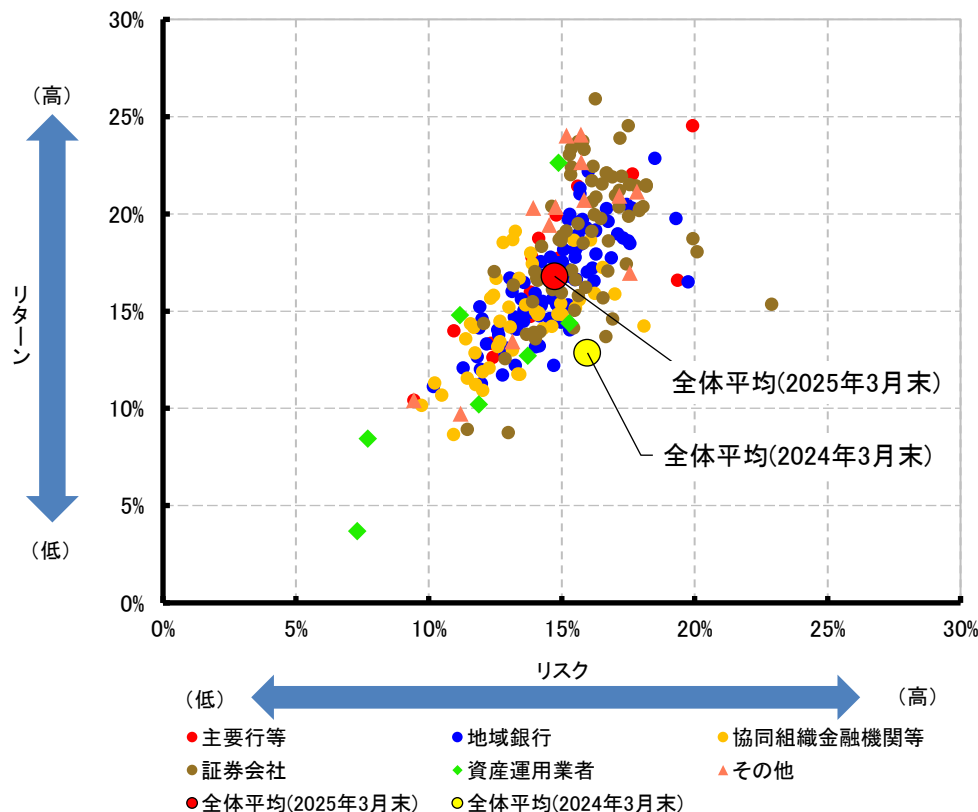
(注2)全業態平均(2025年3月末)は、2025年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し、当庁に報告を行った金融事業者(244者)を集計(単純平均)。全体平均(2024年3月末)は、その金融事業者のうち、2024年3月末基準の投資信託の共通KPIについて当庁に報告のあった金融事業者(237者)を集計(単純平均)。

(注3)コストは、販売手数料率(税込)の1/5と信託報酬率(税込)の合計値。リターンは、過去5年間のトータルリターン(年率換算)

(注4)「その他」は保険会社等4者、IFA8者、日本郵便

(資料)金融庁

図表4:リスクとリターン(全公表事業者)



(注1)基準日2025年3月末

(注2)全業態平均(2025年3月末)は、2025年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し、当庁に報告を行った金融事業者(244者)を集計(単純平均)。全体平均(2024年3月末)は、その金融事業者のうち、2024年3月末基準の投資信託の共通KPIについて当庁に報告のあった金融事業者(237者)を集計(単純平均)。

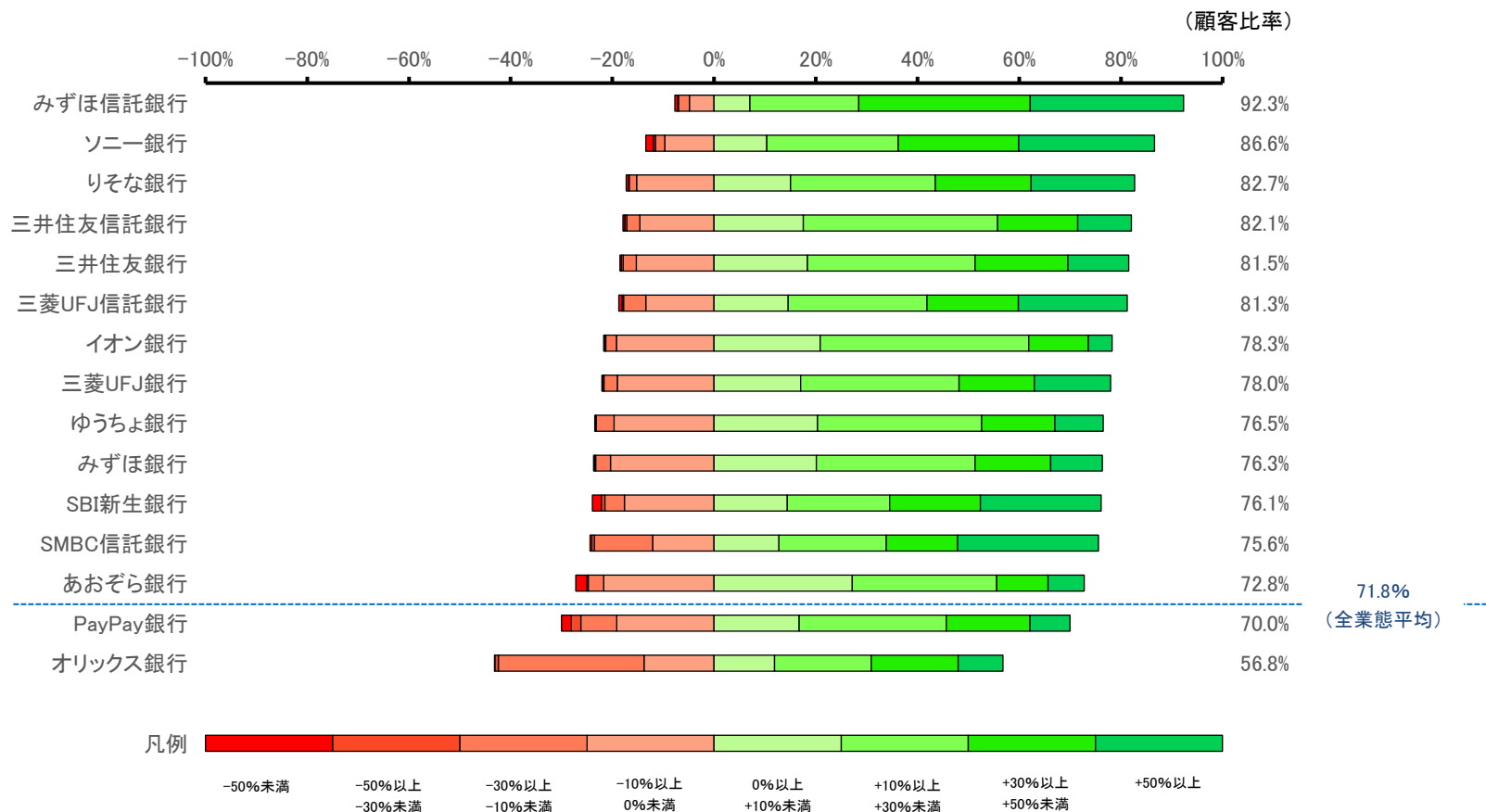
(注3)リスクは、過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)。リターンは、過去5年間のトータルリターン(年率換算)

(注4)「その他」は保険会社等4者、IFA8者、日本郵便

(資料)金融庁

【参考1】 主要行等の投資信託の運用損益別顧客比率

■主要行等(運用損益率プラス(0%以上)の顧客割合が高い順)



(注1) 基準日2025年3月末

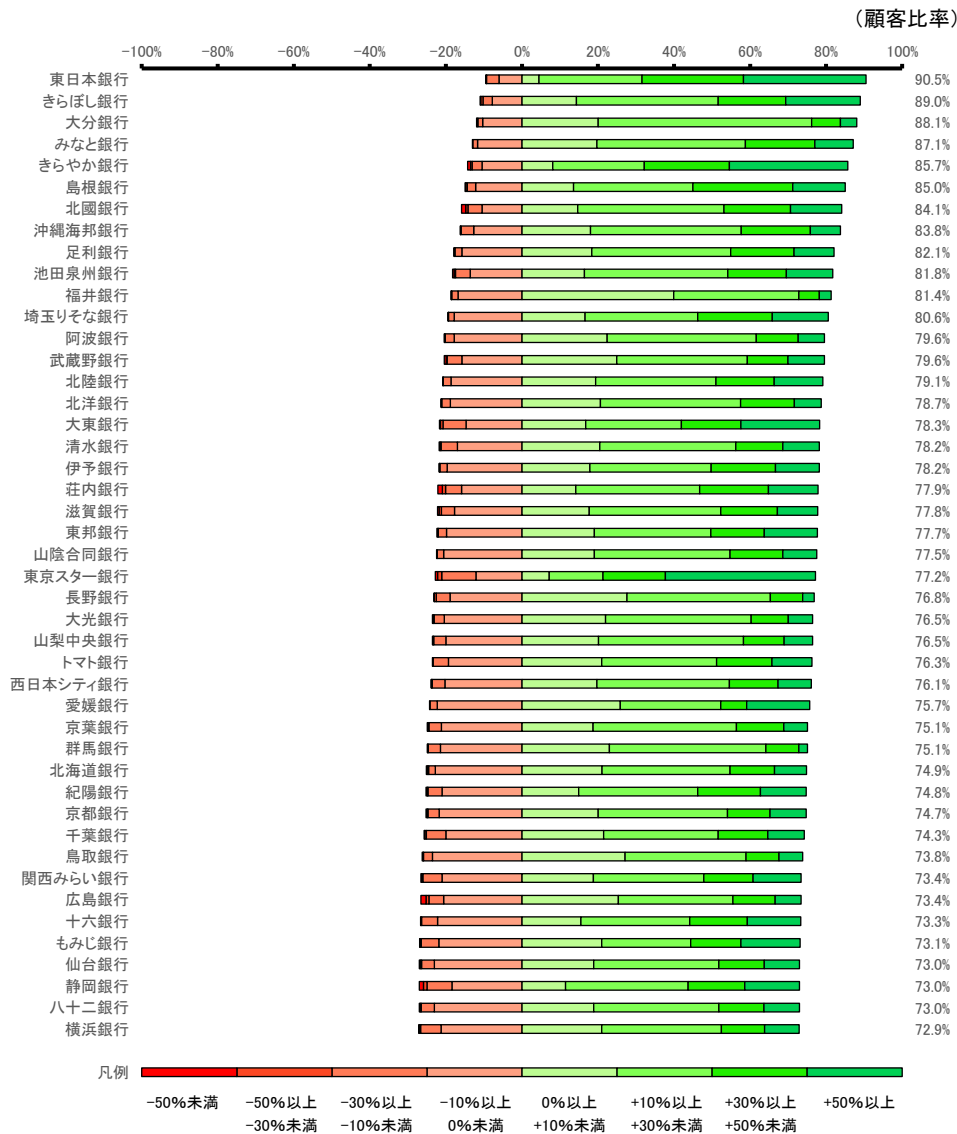
(注2) 2025年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し、当庁に報告を行った主要行等(15者)を集計

(注3) 各者の右端のパーセンテージは、運用損益率0%以上の顧客割合

(資料) 金融庁

【参考2】 地域銀行の投資信託の運用損益別顧客比率

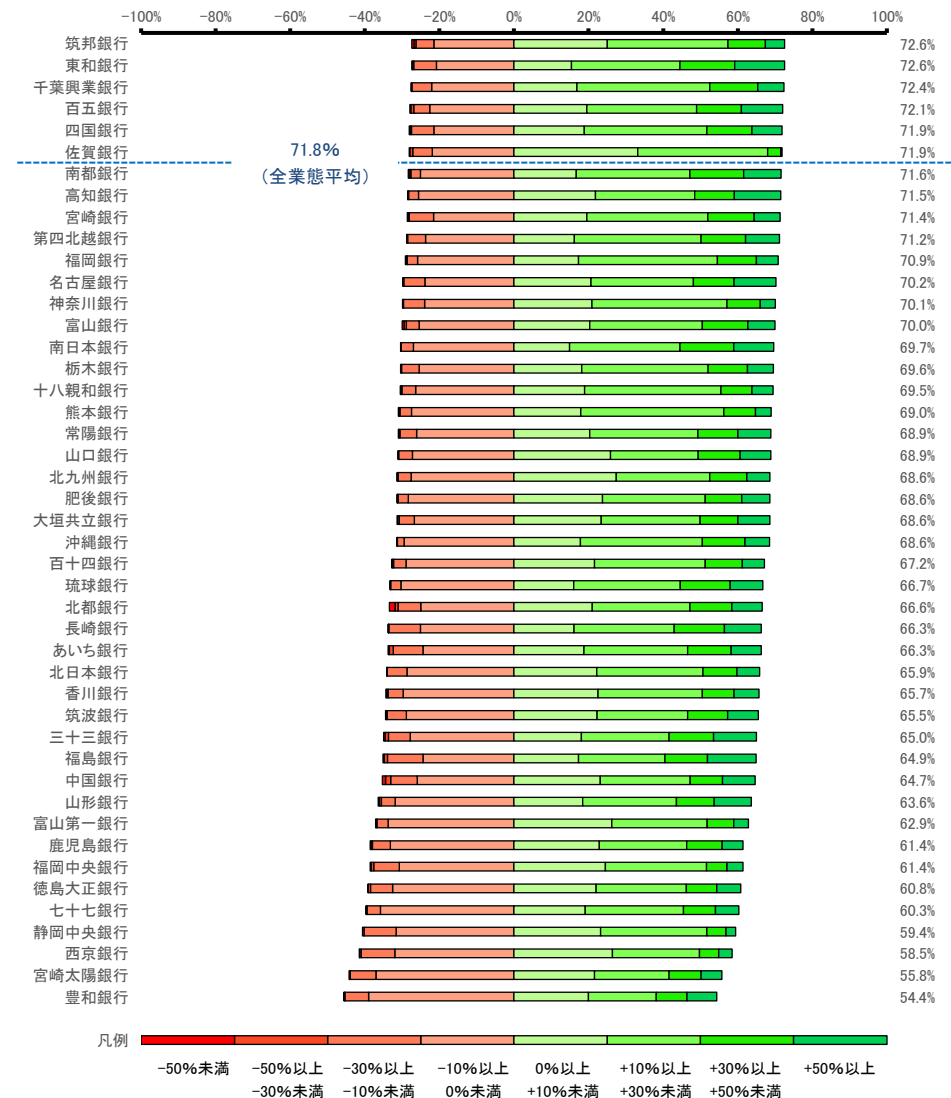
■地域銀行(運用損益率プラス(0%以上)の顧客割合が高い順)



(注1) 基準日2025年3月末
(注2) 2025年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し、当庁に報告のあった地域銀行45者を集計
(注3) 各者の右端のパーセンテージは、運用損益率0%以上の顧客割合
(資料) 金融庁

(左下より続く)

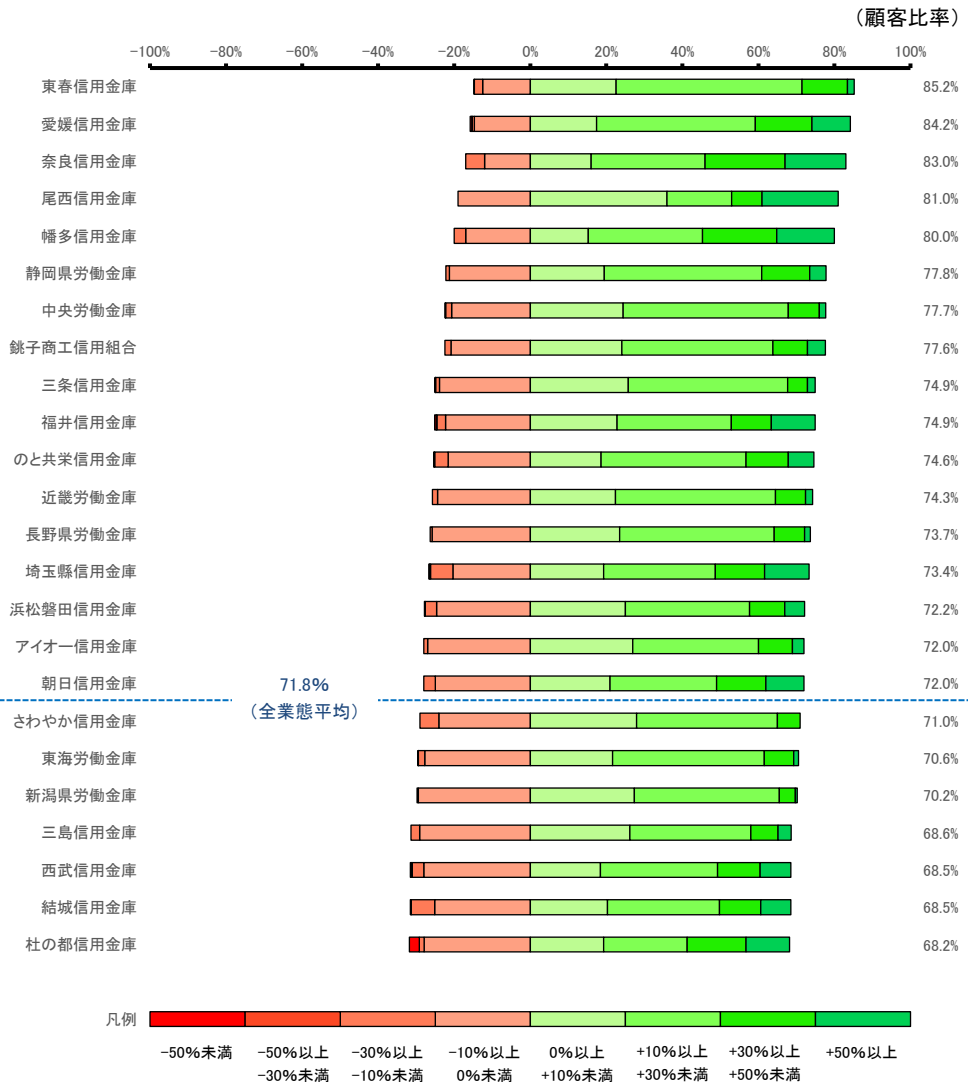
(顧客比率)



(注1) 基準日2025年3月末
(注2) 2025年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し、当庁に報告のあった地域銀行45者を集計
(注3) 各者の右端のパーセンテージは、運用損益率0%以上の顧客割合
(資料) 金融庁

【参考3】 協同組織金融機関等の投資信託の運用損益別顧客比率

■ 協同組織金融機関等(運用損益率プラス(0%以上)の顧客割合が高い順)

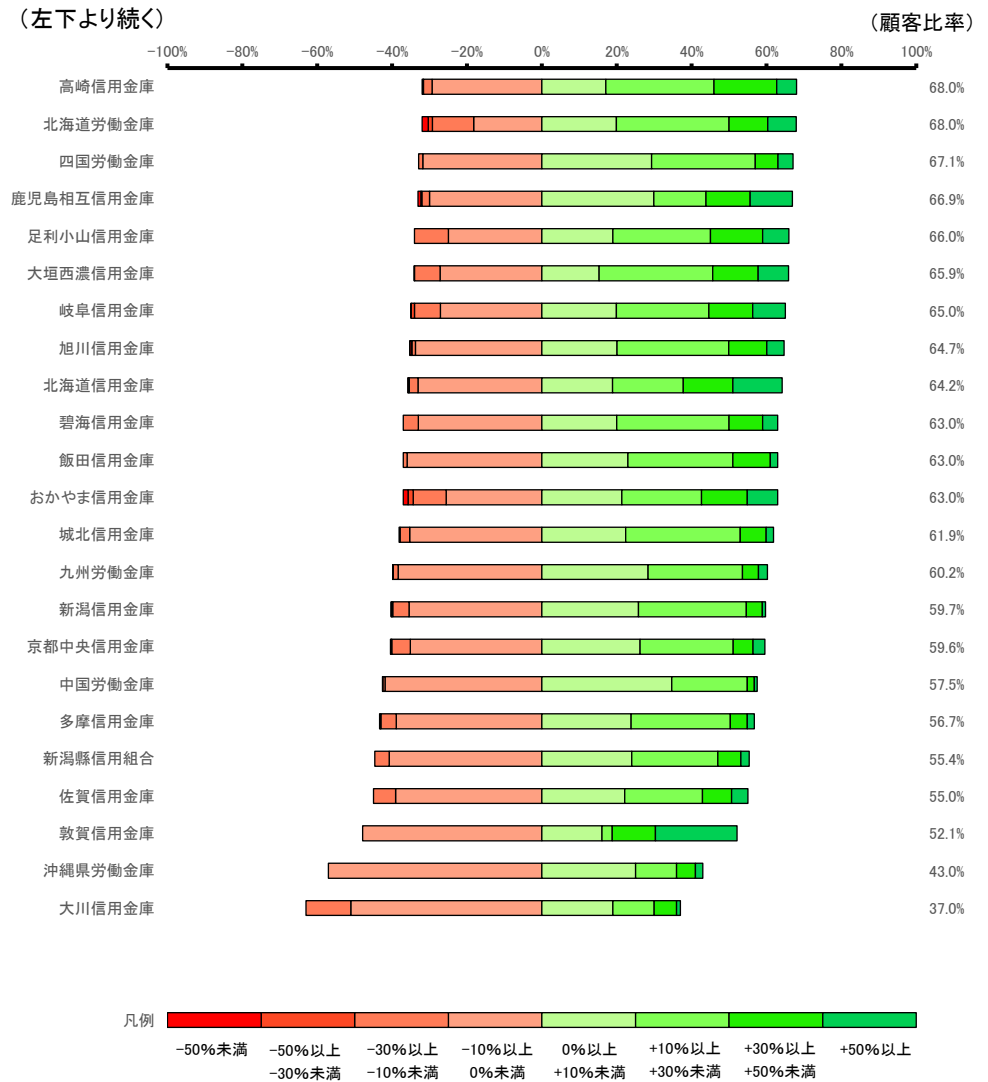


(注1) 基準日2025年3月末

(注2) 2025年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し、当庁に報告を行った協同組織金融機関等24者を集計

(注3) 各者の右端のパーセンテージは、運用損益率0%以上の顧客割合

(資料) 金融庁



(注1) 基準日2025年3月末

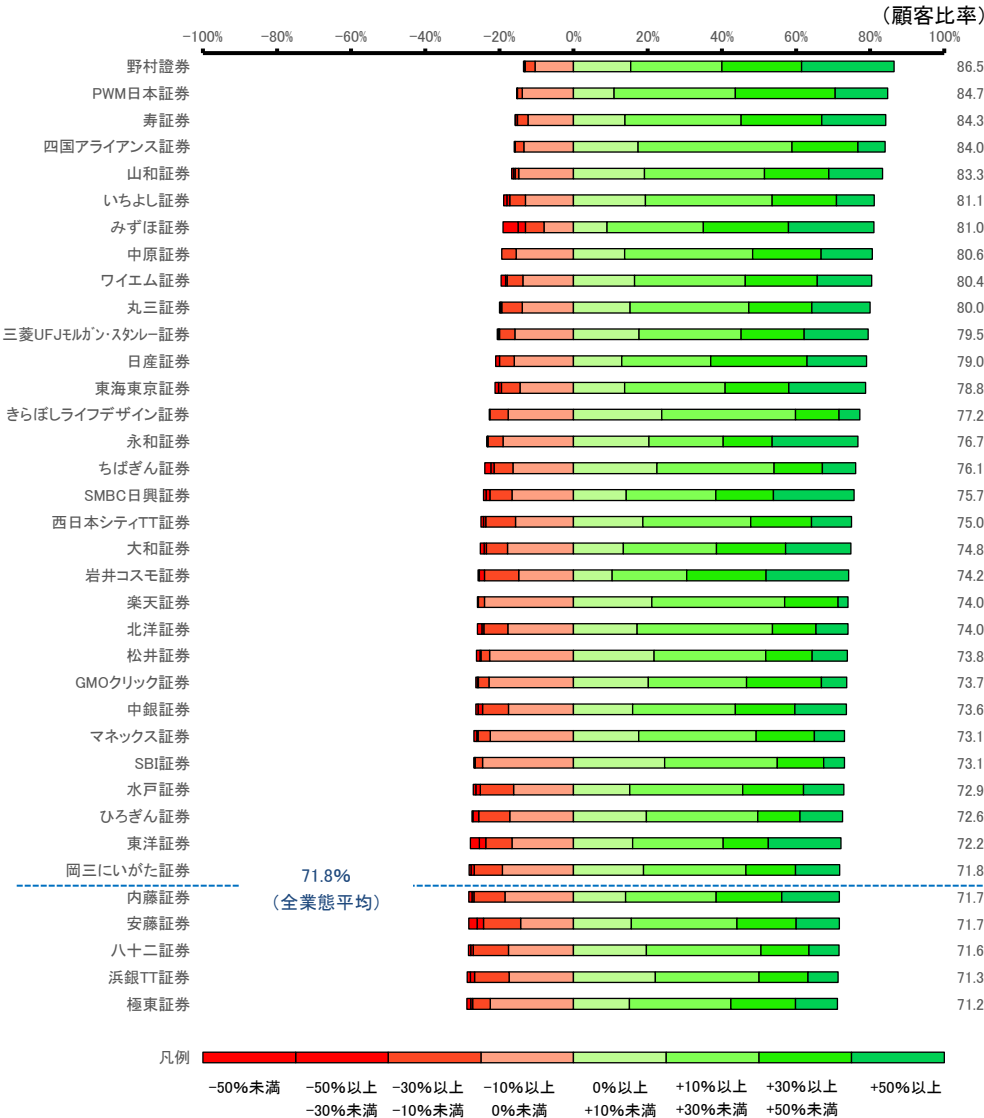
(注2) 2025年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し、当庁に報告を行った協同組織金融機関等23者を集計

(注3) 各者の右端のパーセンテージは、運用損益率0%以上の顧客割合

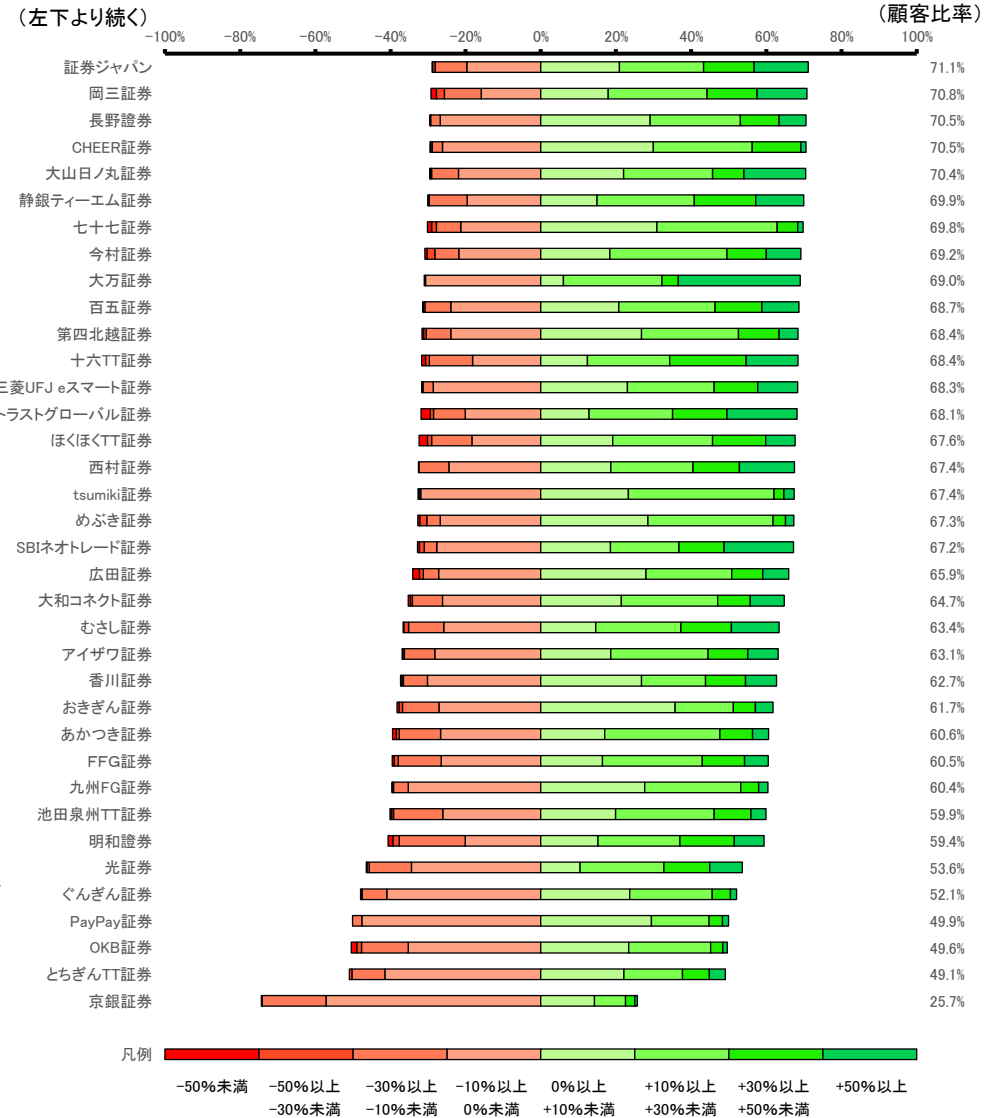
(資料) 金融庁

【参考4】証券会社の投資信託の運用損益別顧客比率

■証券会社(運用損益率プラス(0%以上)の顧客割合が高い順)



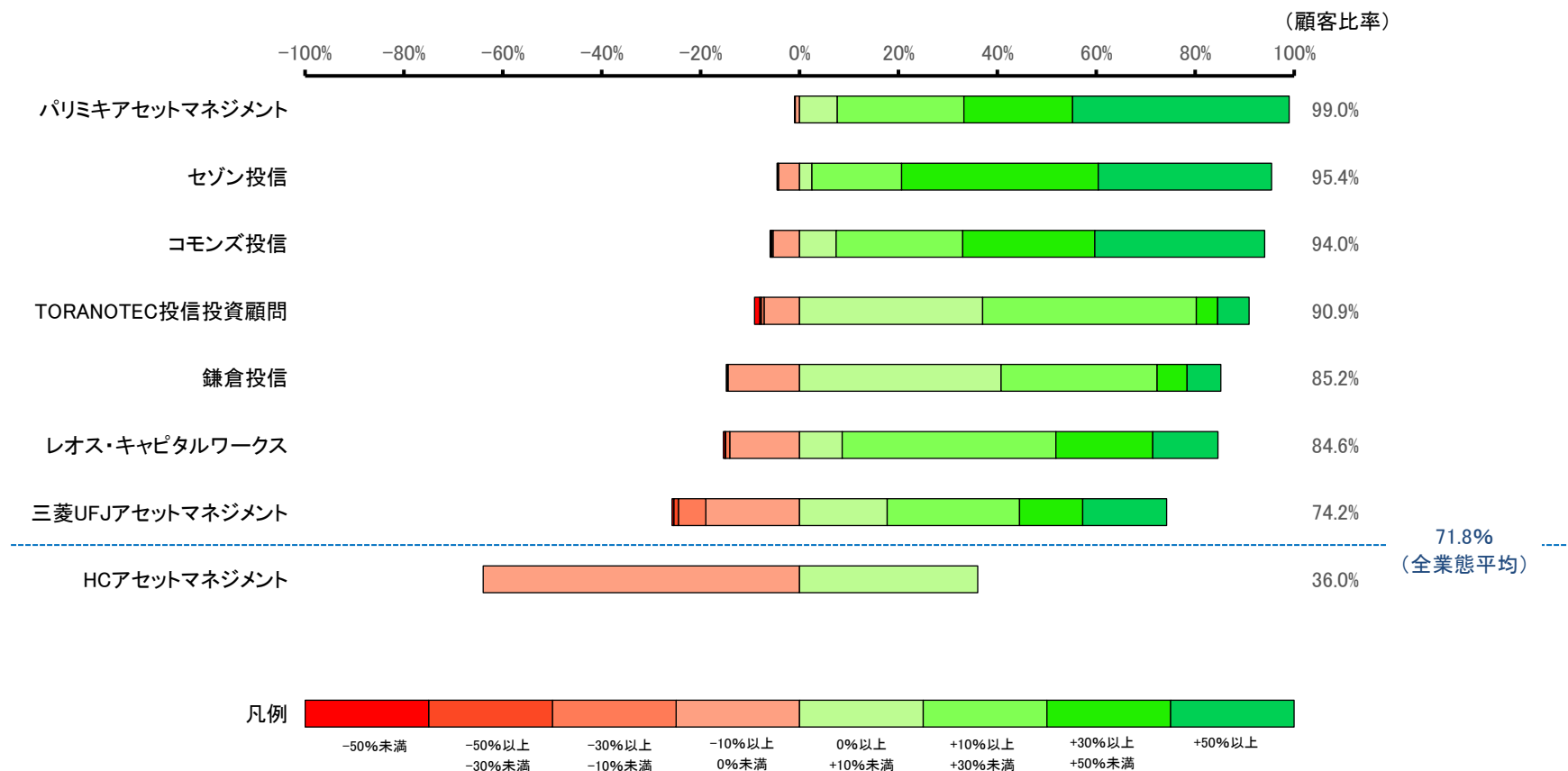
(注1) 基準日2025年3月末
 (注2) 2025年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し、当庁に報告を行った証券会社36者を集計
 (注3) 各者の右端のパーセンテージは、運用損益率0%以上の顧客割合
 (資料) 金融庁



(注1) 基準日2025年3月末
 (注2) 2025年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し、当庁に報告を行った証券会社36者を集計
 (注3) 各者の右端のパーセンテージは、運用損益率0%以上の顧客割合
 (資料) 金融庁

【参考5】 投資運用業の投資信託の運用損益別顧客比率

■投資運用業(運用損益率プラス(0%以上)の顧客割合が高い順)



(注1) 基準日2025年3月末

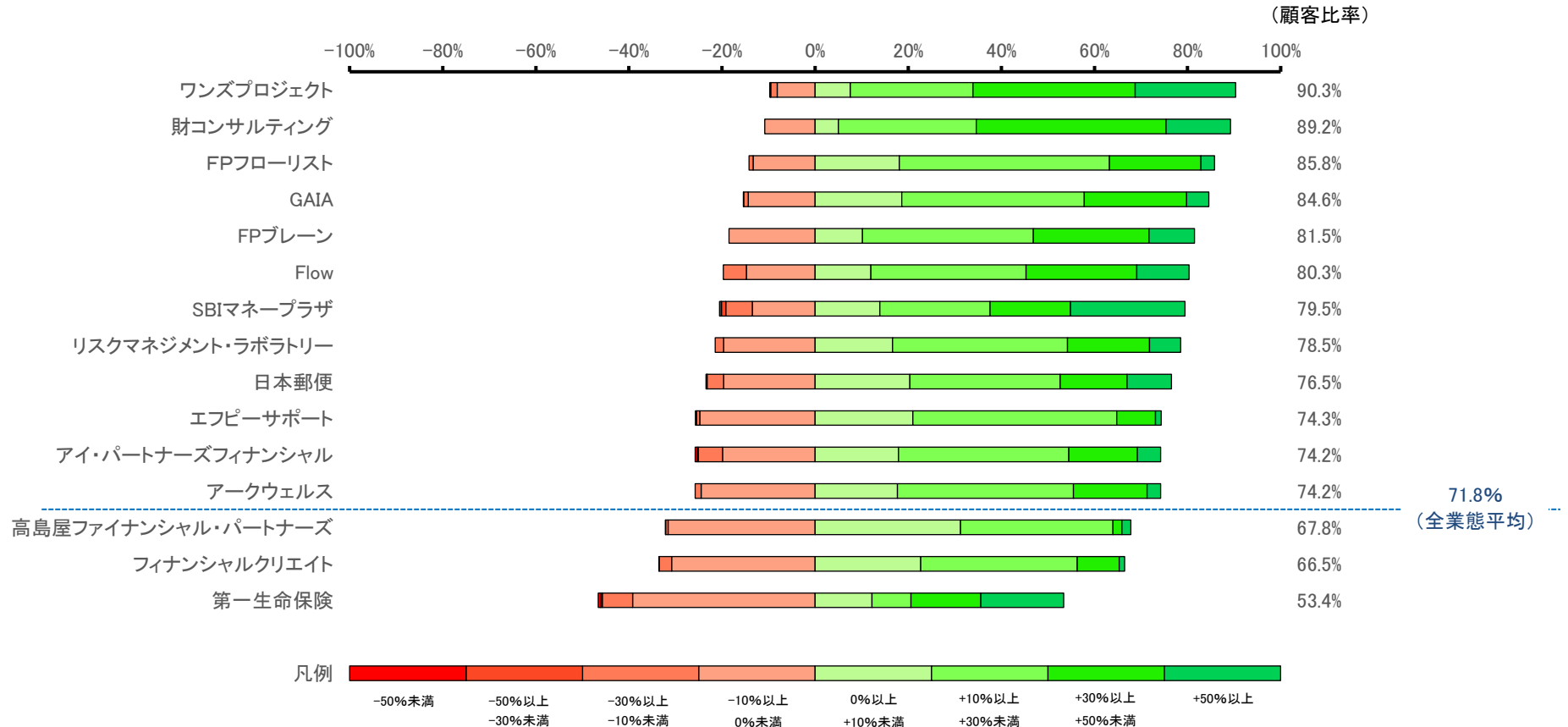
(注2) 2025年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し、当庁に報告のあった投資運用業者8者を集計

(注3) 各者の右端のパーセンテージは、運用損益率0%以上の顧客割合

(資料) 金融庁

【参考6】 その他事業者の投資信託の運用損益別顧客比率

■ その他事業者等(運用損益率プラス(0%以上)の顧客割合が高い順)



(注1) 基準日2025年3月末

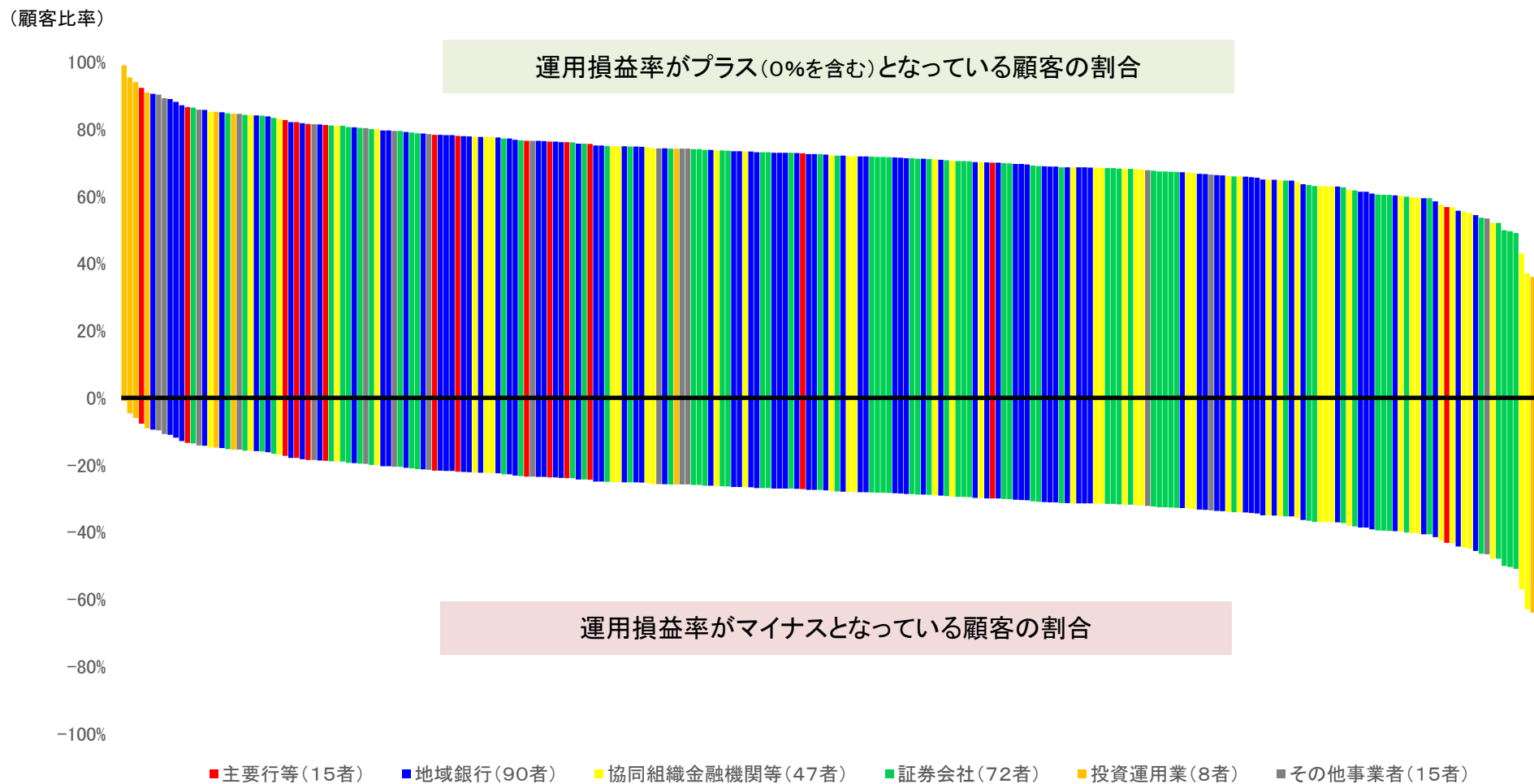
(注2) 2025年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し、当庁に報告のあったその他事業者等(保険会社等4者、IFA10者、日本郵便)を集計

(注3) 各者の右端のパーセンテージは、運用損益率0%以上の顧客割合

(資料) 金融庁

【参考7】 投資信託の運用損益別顧客比率（全業態）

■運用損益別顧客比率（全業態）（左から、運用損益プラス（0%以上）の顧客割合が高い順）



（注1）基準日2025年3月末

（注2）基準日2025年3月末基準の投資信託の共通KPIを公表し、当庁に報告のあった金融事業者（247者）を集計

（注3）その他事業者は、保険会社等4者、IFA10者、日本郵便

（資料）金融庁